



発表する菊池社長

02

株式会社
アイ・シー・エス

クラウドサービスで 地方の中小企業を元気に!

昨年11月に行われた「新商品新サービス合同プレス発表会」で発表された6つの新ビジネスを、誌面でご紹介します。

どんな経営者でも、いちばんの願いは「会社を良くしたい」「利益をもっと上げたい」ということでしょう。言葉をかえれば「会社を元気にしたい!」ということ。株式会社アイ・シー・エスの菊池信寿社長が発表会で提案したのは、まさに「会社を元気にする方法」でした。

「クラウドを活用した営業力強化が、私たちの提案です。営業支援のシステムはこれまでもさまざまにありましたが、導入コストが高かったり使い勝手が悪かったりと、なかなか会社の事情に合ったものはありませんでした。しかし、低い導入コストでスタートできるクラウドサービスを活用すれば、すぐでも第一歩を踏み出すことができます」

「世界的にも高い実績のある営業支援システム「Salesforce」やドキュメント共有管理システム「eventote」、情報管理システム「box」などを組み合わせ、顧客企業のニーズに最適化した提案をする——それが、同社のサービスです。「くらしのシステムを導入しても、きちんと使われなければ意味

がないのは、クラウドでも同じ事です。私たちは、もちろん導入後のケアもきちんと行い、必要に応じてアドバイスすることで、導入後に「しまった!」と後悔されないよう、対応させていただけます。地域の企業だからこそできる、地域密着のサービスです」



取締役社長
菊池 信寿さん



Information 株式会社アイ・シー・エス 宇都宮市下戸祭1-9-16 ☎028-643-3377 ☎028-643-3378 <http://www.icsjpn.co.jp>

03

東日情報処理センター
株式会社

地元企業の コラボレーションで 大人のダンディズムを



発表する早川社長

「栃木ブランドプラットフォーム構想は、県内の優れた技術やアイデアを持つ製造業が集まってできたものです。コンセプトは『大人を楽しむ』『とちぎを応援する』。そこから生まれたのが、新ブランド『とちぎダンディズム』です」

目を輝かせながら説明する、東日情報処理センター(株)の早川育哉社長。地域で活躍する、ものづくりのエキスパート企業が集まって、大人の魅力を追求する中から、地域ブランドを創造する試みです。

「私もマイクロフィルム作成や電子データ作成など情報を扱う企業ですが、近年はオンデマンド印刷にも力を入れていきます。そこから『あーるばーむ』というオリジナルグッズの企画販売部門が生まれました。

ここで培ったデザイン力、印刷力を活かすためにはどうしたらいいか考え、小さな企業がそれ

その特色を活かす商品開発というアイデアに至ったのです」

栃木県内には優れた技術力を持つ企業が多いのですが、その多くは下請けなどで、なかなかアピールする機会がありません。そういった企業を集め、栃木の特色(大谷石、天明铸件)さまざまな地域資源を生かした商品を開発して販売することが、地域活性化にも結びつくというアイデアです。

「コンセプトを『ダンディ』にすることで、少し上の層が楽しめるものを生み出し、生活を楽しくしていただけるようにしたいと考えました」

現在、すでに5アイテムが生み出されている「とちぎダンディズム」。今後の展開に大きな期待が集まっています。



宇都宮カワテル倶楽部とコラボレーションしたスタッキング大谷石コースター/スタッキングアシシユトレイ、ナツツレイ



代表取締役社長
早川 育哉さん

Information 東日情報処理センター株式会社 宇都宮市御幸本町4864 ☎028-663-1221 ☎028-663-1222 <http://www.toh-nichi.co.jp>